

金沢大学総合情報処理センター内蓄積PDS, フリーウェアの紹介

総合情報処理センター 松本 豊司
工学部電気・情報工学科 江尻 悟
工学部物質化学工学科 明円 和弘

最近ネットワークを通じてPDS (Public Domain Software) やフリーウェアが容易に入手でき、その出来栄もこれが無料で使えるソフト? と感心してしまう出来栄の物も少なくありません。これらのものはネットワークを通じて入手しやすくするために圧縮されたり、分割されたりしています。それでもXウィンドウのソースプログラムやNemacsのソースプログラムのように何十Mバイトもの容量に達し、個人で所有するにはいかにも大きすぎるものがあります。またNSUG (Nihon Sun User Group) のSUG CDやTAPEのように会員でなければ入手できないものもあります。これらのことを考慮して本年度からこれらのソフトウェアを総合情報処理センターのワークステーションに蓄積し、興味のある方にこれを利用してもらうサービスを実験的に初めました。また、総合情報処理センターのユーザがBBS (電子黒板システム: パソコン通信) から入手したもので有用と思われるものを集めたものもあります。

この管理は総合情報処理センターの学生アルバイトの諸君が暇を見つけてやってくれているので従来のサービスと同じ質のサービスは受けられませんが、この点を容赦の上で覗いてみて下さい。もしかすると宝の山に当たるかもしれませんので一度ためしてみてください。

蓄積しているワークステーションはicews2で /junet/archive というディレクトリにGNU, mac, msdos, sug89 という4つのディレクトリにそれぞれ分けて蓄積しています。このサービスは実験的なものですのでディレクトリの構成や内容が予告なしに変更されることもありますが了承ください。なお、本文の1章は松本が2章はセンターのバイト生の江尻君が、3章は同じく明円君が執筆したものです。

1. NSUG テープ, CD

NSUG のTAPE またはCDを昨年度から購入し始めました。昨年度入手したものは1991 NSUGTAPE とCDです。TAPEの内容は前述の junet/archive/sug89 というディレクトリに蓄積しています。

1. 1 テープの内容

```
sug89/Administrivia/README
sug89/Administrivia/README,1987
sug89/Administrivia/bin/reprocess
sug89/Administrivia/bin/tnc
sug89/Administrivia/README.1985
sug89/Administrivia/forms/contribute.form
sug89/Administrivia/froms/request.form
sug89/Administrivia/LIST
sug89/Administrivia/NOTES
sug89/datacom/ckernit/README
sug89/datacom/ckernit/sugtar.Z
sug89/datacom/xmodem/README
sug89/datacom/xmodem/sugtar.Z
sug89/datacom/dnimap/README
sug89/datacom/dnimap/sugtar.Z
sug89/datacom/dnimap/README
sug89/datacom/dnimap/sugtar.Z
sug89/datacom/sdlc.zs.driver/README
sug89/datacom/sdlc.zs.driver/sugtar.Z
sug89/datacom/sdlc.zs.driver/RREADME
sug89/datacom/sdlc.zs.driver/sugtar.Z
```

これらのソフトウェアを利用する方法を紹介します。ファイルの蓄積されたディレクトリでは圧縮されたファイルをもとの形のファイルに復元する操作（解凍）は許可されませんので自分のホームディレクトリにコピーしてからこれらの操作を行ってください。操作は以下のようにしてください。

例はckernitの解凍も行っています。

```
icews2% cd
icews2% cp /junet/archives/sug89/datacomm/ckernit/sugtar.Z
icews2% uncompress sugtar.Z
icews2% tar xvf sugtar
```

1. 2 CDの内容

CDは一般の使用を考慮してマウントしたままにはしてありません。したがって使用希望の方は使用するときには添え付けのマニュアルを参考にマウントして使用する必要があります。ここでは

/usr/sug というディレクトリにマウントされているという前提で話を進めます。CDのディレクトリの構成は以下の通りです。

/usr/sug/etc システムの管理者用ユーティリティ
bname dialback nfslogsum rmt timedc bwfreq diskuse nfswatch rpc.bootparamd traceroute
callbootd emulation ntp tcpdump dial fixwtmp ntpdc timed

/usr/sug/share audipoデータ, Clip,Art,TeXのフォントファイル等
audio clipart crttool font images tex

/usr/sug/src X11R4,TeX,GNU等のソース
TeX3.0 X11R4 bin emacs etc games gnu.LICENSE gnu.README kvm lib sunview
xbiew

/usr/sug/src/bin X11,GNU,TeX,SUNView等の実行ファイル
di flock less perl dissect gmake-1.09 mailsplit psraster tn3270 elm gtar-1.09 mkdep.sh
rcs uteco expect ispell-2.0.02 mush soundworks xtail file jove newtsool sun_to_ps flex
kermit patch sunkey

/usr/sug/src/etc
bname cops fixtmp tcpdump watcher bootparams dialback nfswatch timed bwfreq
diskuse ntpd traceroute consolelog emulation scrub track

/usr/sug/bin Sun4システムでOSのバージョンが4.1.1以上の実行可能ファイル
X11/ et hram newmail sunkey a2p etages ident newsreader suntops a2p.old exp inif
newstool sunview@ addto expect initex pass.chk sv/answer fastmail is writable patch t
aintperl arepdaemon file isexpand patgen tangle autoreply filter ispell perl te bibtex
flex jove perl3.044 teachjove bison flock kermit phonetool tex checkalias frm latex
pktogf texinfo ci g++less pktype tftopl clearfiles games/less.help pltotf tn3270 co gcc
lesskey pooltype tperl3.044 crc genclass listalias pritmail user.chk ctags getsize merge
psraster vftovp di gftodvi messages rcs virmf dissect gftopk mft rcsdiff virtex dvitype
gftype mkdep rcsdiff virtype gftype mkdep rcsmerge vptovf elm gmake mset
readmsg wart emacs gtar munchlist rlog weave emacsclient h2ph mush rrev
wnewmailk emacstool home.chk newalias s2p xtail

/usr/sug/src/games
bidding cg gnuchess nobs bj challenge knight poker bluemoon cribbage mines roll

/usr/sug/src/gnu
mon ofiles pmon top vmem

/usr/sug/src/sunview
boss crttool getFile mystery world calctool1 dismand hpcalc rolo calctool2 dvipage
lpqtool sterm calentool eyecon monthtool sunclock cplaid faces movietool-1.3.1
tooltool

/usr/sug/src/xview
catcher contool phonetool

2. ICEWS2 :

`/junet/archives/`

このディレクトリには、`junet`のニュースグループ`fj.binaries.msos`に流れていたMS-DOS用のプログラム等の記事を、`binary`ファイルに直したものが、その機能別のディレクトリに分類されて、プールされています。

各機能別ディレクトリには、どのようなプログラムがあるかを簡単に説明したINDEXファイルがあります。これを参照して検索して下さい。

また、NIFTY-Serve等の商用BBSから入手したものは、同様な構成で`/junet/archives/msdos-extra`にプールしてあります。

2.1 ダウンロードの仕方

`icews2`との接続状況により、この他のダウンロードの仕方があるかもしれませんが、この内容はUNIX.WSならびにPCにあまり詳しくない方を対象に書いたものなので、総合情報処理センターに設置してある`fmr`を用いる場合に限定して説明します。

1) メニュー画面でUNIXを選択します。

カレントドライブをA:にします。

```
G:¥FUSION>A:
```

2) 次に、`telnet`コマンドで`icews2`にログインして、ソフト別ディレクトリのINDEXファイルを参照して、欲しいソフトを確認します。

```
A>telnet icews2
:
{icews2} % cd /junet/archives/msdos
:
{icews2} % cd Graphic
{icews2} % more INDEX
:
```

次に、一旦ログアウトして`ftp`コマンドで`icews2`に接続します。

```
{icews2} % logout
:
A>ftp icews2
:
ftp>
```

3) "bin"もしくは"binary"とタイプして、ファイル転送のタイプをバイナリタイプに

指定します。

```
ftp>bin
```

:

次に、cd コマンドで欲しいソフトがあるディレクトリまで、カレントディレクトリを移動します。

```
ftp>cd /junet/archives/msdos/Graphic
```

```
ftp>ls
```

```
ngraph52.lzh
```

:

そして、get コマンドでファイル転送を行います。

```
ftp>get ngraph52.lzh
```

:

もちろん、cd コマンドを使わずに絶対パス指定でファイル転送を行ってもよい。

```
ftp>get /junet/archives/msdos/TeX/Graphic/ngraph52.lzh:
```

4) "bye" とタイプして、接続を絶ちます。

5) LHA.EXE を使って、*.lzh を解凍します。

```
A>lha e ngraph52.lzhMelting *** 0000.....
```

:

6) これで、ダウンロードは完了しました。後はソフト付属のドキュメンテーションを読んで、お使い下さい。

3. フリーソフトウェア散策 in icews 2

フリーソフトウェアの発展にともない私達のコンピュータライフは、はばがひろがり、さらに快適なものとなってきました。御存知のとおりフリーソフトウェアは、主にNIFTY-Serve等の商用BBS（パソコン通信サービス）やJUNET等の学術研究ネットワークを通じて入手することができ、その名は全国に知れわたっています。あらゆるジャンルでフリーソフトが公開され、その性能はかなりの分野で市販ソフトに匹敵、また追い越そうとしています。

いまやユーザ数の面からいってもベスト3にはいる非常に完成度の高い通信ソフトWTERMをその昔、千数百円の雑誌の付録ディスクに見つけて感嘆したのは私だけでしょうか？フリーソフト利用に必携となったLHA、ファイル管理操作に威力を発揮するおなじみFDなどなどフリーソフトの性能に驚かされます。

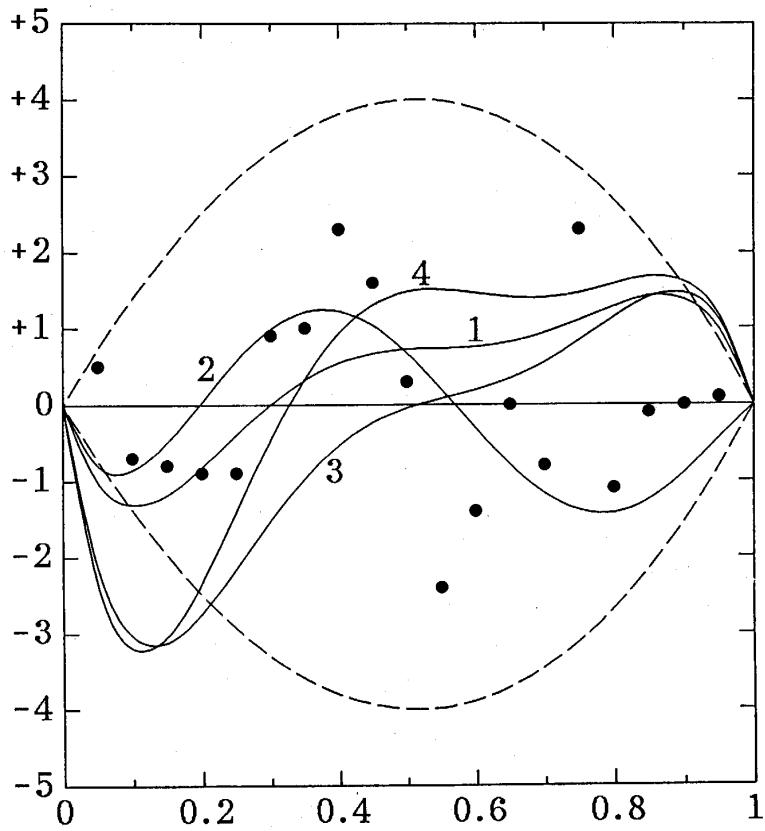
一般にフリーソフトのバージョン・レベルアップは、市販ソフトのそれと比べて早いといえます。

これは、ネットワーク通信の双方向メディアと密接に関係しています。ユーザはプログラムの不具合（バグ）などを発見すると、電子メールを使って手紙より早く電話より確実に情報を作者に知らせることができるので、作者とユーザの距離が市販ソフトよりもずっと小さいといえます。このため、市販ソフトより連続的に性能が向上している場合が多いようです。

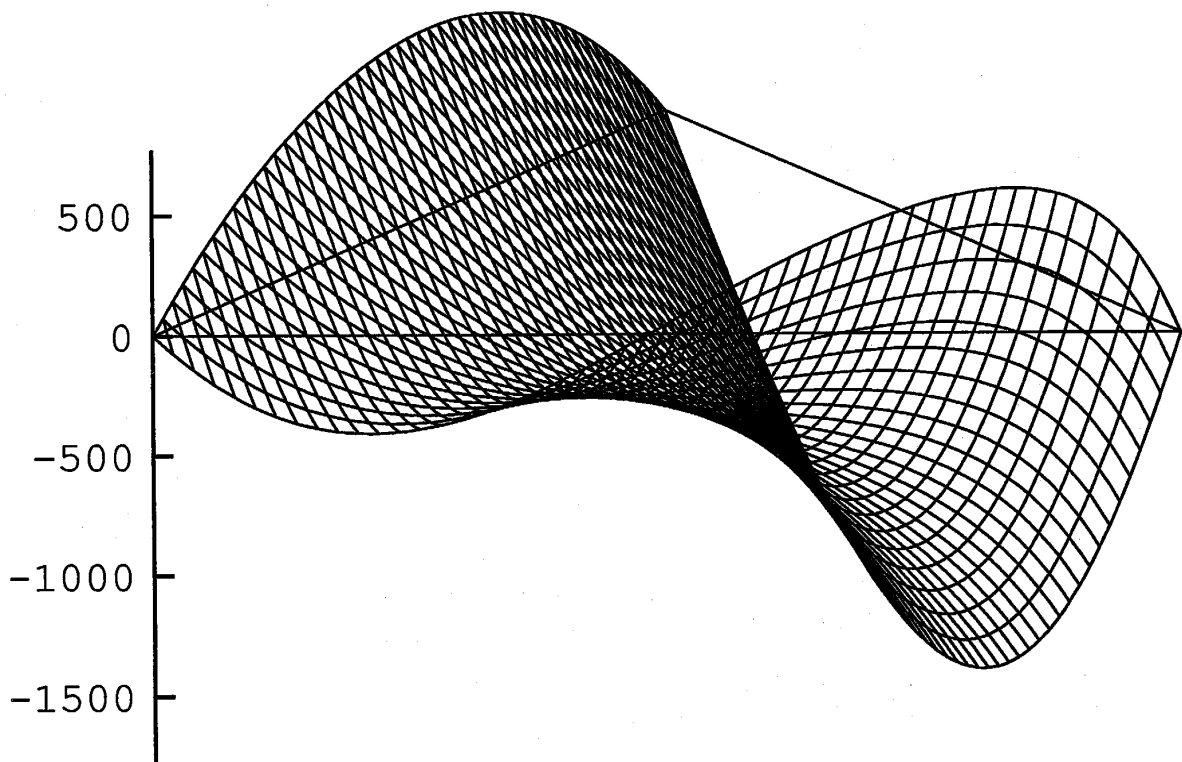
また、FDなどのメジャーなものばかりでなく、あまりよく知られていないものにも個性的でユニークなソフトが沢山あって中には、こんな面白くて便利なのがあったのかぁ、とびっくりするものもあります。そういうソフトを探して使ってみる、またはどんなソフトだろう？と使ってみてびっくり！！といった使い方ができるのもフリーソフトの楽しみではないでしょうか？ジャンルがたくさんあり、種類も豊富ですからたくさんのソフトがあります。また新ソフトがどんどん公開されていていきますから、その数はさらに膨れ上がっていています。UNIX用、パソコン用また、その機種によっていろいろですが、広く普及しているPC9801（MS-DOS）対応では美しく世界時計など多彩な機能を持つメニューソフトGAS、スケジューラー、時計などと一体化したΨmenu、理工系データも処理できるほど高機能な汎用グラフ作成ソフトNgraph、コマンド行編集・履歴機能を持つMS-DOSの入出力環境を改善するhistory/xscript、KI-Shell、マニュアルを登録しUNIXのオンラインマニュアルのように使用できるなどといったUNIXライクツール、パーソナルTex、列車、新幹線の時刻が簡単に検索できる旅友、旅足、子供から大人まで、学生から先生まで（？）楽しめるゲーム... etcとても多彩で豊富です。

性能でもすぐれたものが多く、例えばNgraphなどはあのマックのCricketGraphをしのぐと思われる機能がいくつもあり、出力もひけをとりません。ディスプレイ上でも同程度の鮮明さで表示され細かな修正が可能です。操作もメニュー形式で簡単におこなわれテキスト文挿入、全体の大きさ、位置決めなどは画面を見ながらCricketgraph感覚で行えます。漢字も貼り付け可能でフォント指定などもマック感覚（もちろん、フォント数、他のソフトへの組込みという点からいえばマックの比ではないが）で行えます。論文のグラフ作成にドッグレース等を使われている方、もしかしたらPC9801とNgraphで簡単に作成できるかもしれませんよ。

総合情報処理センターにあるワークステーションicews2にはこれらフリーソフトの一部がプールされています。フリーソフトはその膨大な数、バージョン・レベルアップの早さからすべてのソフトをプールして行くのは大変で不可能ですが、沢山のソフトがありますのでぜひ散策してみてください。欲しかったソフト、ユニークなソフトが見つかるかもしれませんよ。



N-graph for PC9801



GNU-plot for UNIX